

「X」3月1日(木) かながわ景勝50選日本三大薬師「日向薬師」番外編

(参加者数名から要望があったので企画した)

(集合; 小田急線「伊勢原駅改札口9; 50分厳守同時出発)

(1) 行程; 「伊勢原駅」バス移動→「日向薬師終点」→白髭神社→仁王門→日向薬師→日向山(404m)→浄発願寺→大友皇子の陵→石雲寺・大友皇子の納碑→浄発願寺堂宇跡→バス停「日向薬師」→「伊勢原駅」。

(2) 食事場所; 駅前「」。TEL; 。

1・白髭神社(祭神白髭明神渡来人高麗王若光コマウヅヤッコウ・日向の鎮守)

2・仁王門1833年(天保4)再建・日向薬師本堂(国重文)

3・通称、日向薬師(ヒナヤクシ・宝城坊・日本三薬師)、靈山寺(リョウセンジ・高野山真言宗・日向山・本尊薬師三尊国弘仁期行基作重文関東以北の存在する鉈彫り仏像・正月三ヶ日、1月8日、4月15日開扉拝観可・寺宝薬師三尊及び十二神將と阿弥陀如来鎌倉期作重文、梵鐘室町期鑄重文、幡かけの杉樹齢推定800年県記念物、大太鼓及び獅子頭鎌倉期作重文)

行基が薬師如来の託宣により、大山の東方山靈に白髭明神と熊野権現の2神の援助を得て、靈木に薬師如来像を刻んで一堂宇を構えた事に始まり、716年(靈龜2)開基と伝う。開創以来朝廷の尊崇厚く、1340年(暦応3)鑄造の銅鐘(国重文)銘文には、平安時代の村上天皇や鳥羽院から梵鐘を下賜されたとある。源頼朝は大姫の病氣平癒に、政子・実朝夫人は安産祈願に此処を参詣している。室町時代には、鎌倉公方足利基氏から錦旗(県重文)の献納を受け、戦国時代には後北条氏から60貫余りの土地の寄進を、江戸幕府にはからは60石の土地寄進と本堂再建(1660年万治3)、修築援助を受けた。近年宝物殿が建立され、阿弥陀如来四天王・十二神將等、室町時代の24点にのぼる仏像・厨子(いずれも国重文)が集められた。

4・日向山(404m)

5・浄発願寺（天台宗上野寛永寺中凌雲院末・本尊阿弥陀如来・寺宝大字六字名号俗に兩乞名号）

慶長13年（1608）彈誓の開基。中興開山は木食空誓が天和3年（1683）堂宇を建立、徳川家康より朱印境内山林16万5千6百坪を賜る。

6・大友皇子の陵

7・石雲寺（）・大友皇子の納碑

8・浄発願寺堂宇跡（罪人の駆け込み寺）

「X II」海老名国分寺跡・尼寺跡・国分寺・瓢塚

第66回行程路案内図

